

教育応援分 1,035 千円(ポピンズナーサリースクール軽井沢風越)

【地産地消・給食のお米】 【災害用備蓄品】

本寄付金制度を通じて、当園へ温かいご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。

皆さまからのご寄付は、給食の「長野県産のお米」と、いざという時に命を守る「災害時の備蓄品」の購入等に大切に活用させていただきました。

写真は、旬の野菜を混ぜ込んだごはんを、小さな手で一生懸命スプーンを使っておいしそうに頬張る姿です。毎日のおいしい給食と、いざという時に安心できる環境が、お子様の健やかな成長を支える大きな力となっています。

今後とも、当園を温かく見守っていただけますと幸いです。



軽井沢風越学園は、2020年4月に開校した義務教育学校です。軽井沢風越幼稚園と校舎を一つにし、3歳から15歳の子どもたちが異年齢の関わり合いを大切にしながら、じっくり、ゆったり、たっぷり、まざって、遊ぶ／学ぶ体験を積み重ねています。義務教育学校では、前期課程（1年生～6年生）159名、後期課程（7年生～9年生）70名、合計229名（2025年3月末時点）の児童・生徒が在籍しています。

今回のふるさと寄附金のご支援は、多様な子どもたちの学びを継続的に支えるため、「授業料等減免制度」の原資として活用させていただき、2025年度は42名の子どもたちの授業料等を減免することができました。昨年度に引き続き制度利用者数は増加し、過去最多となります。

子どもたちが自分の未来を自分で決めていくことができるよう、その成長を見守りながら、日々の学校運営に努めて参ります。多くのご支援をいただいたこと、心より感謝申し上げます。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。



教育応援分 114 千円 (軽井沢高等学校)

学校ホームページの運営

令和5年度に改修した本校ホームページの継続運営により、本校の特長である軽井沢町学習センターや探求学習等を紹介する入口を掲載するほか、行事等タイムリーな発信ができました。

テント購入

今年度の学校行事でもテントが不足していたため、昨年度に引き続き今後の行事等対応のためテントを購入しました。

学校行事後の購入となったため今年度はテントを使用する機会はありませんでしたが、今回の購入により次年度5月の行事から生徒が利用できるテントが確保されました。

クイックテントを購入することにより少人数でもテント設営ができるため、学校行事の他災害時等にも対応できるようになりました。

生徒進路用書籍の購入

進路用書籍の購入により、生徒の進路資料として利用できました。



教育応援分 398,526 千円 (ユナイテッド・ワールド・カレッジ ISAK ジャパン)

UWC ISAK は世界中の高校 1～3 年生を対象とした、国際社会でポジティブな変革を起こせるようなチェンジメーカーを育成する全寮制国際学校です。2017 年 6 月に初めての卒業生を送り出し、同年 8 月には「世界の平和と持続可能な未来を実現するために、教育の力で世界の人、国、文化をひとつにする」ことをミッションに掲げ、50 年以上の歴史を持つ国際的な民間教育機関である United World College に正式に加盟しました。2025 年には、国籍だけでなく社会経済的にもさまざまなバックグラウンドを持つ世界 90 カ国から集まった約 200 名（新学年開始時点）の生徒が、お互いの価値観の違いを活かしてともに生活し学んでいます。

ふるさと納税を通じたご支援のおかげで、今年も半数以上の生徒に対して、それぞれの経済状況に応じた奨学金を給付することができましたことを、皆さまに改めて御礼申し上げます（ふるさと納税を含む全体では、約 7 割の生徒に奨学金を給付）。能力と意欲があり、強い目的意識をもつすべての若い世代にチャンスを与えられる学校になるために、皆さまからお預かりしたご寄附は今後も大切に奨学金基金として使わせていただきます。

これからも、地域社会に貢献しながら、国内外でさまざまな分断が深まる時代を切り拓いていく生徒たちを育成できるよう努力を重ねてまいります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



教育応援分 4,000 千円 （国立大学法人信州大学）

【AI 教育・研究】

地域課題を AI で解決するための人材育成・事業創出を目的として、軽井沢において種々の授業を実施するために活用しました。

令和 7 年 8 月 30 日～9 月 2 日の合宿における集中講義では、軽井沢観光協会大雲会長にヒアリングを行い、観光政策を検討しました。令和 7 年 10 月 4 日、5 日に行った合宿では、軽井沢観光の講義が行われたほか、当該政策が AI との高い親和性を有することに基づき、軽井沢でフィールドワークを行いました。そして、令和 7 年 11 月 8 日、それまでの成果を踏まえ、軽井沢観光協会に対して、複数の観光政策を提案しました。

【軽井沢高校との連携】

早期に AI スキル育成やその活用方法について触れる機会をもつことが重要であることから、軽井沢高校との連携を実施するためにも活用しました。

具体的には、令和 7 年 2 月に、軽井沢高校 1・2 年生の図書委員を対象として、信州大学の学生が指導・支援者となり、本の POP 広告を、AI を用いて作成する活動を行いました。更に、令和 7 年 11 月には、信州大学のライフクリエイターコース修了生等が軽井沢高校を訪れ、日常生活や学習における生成系 AI の活用方法について、軽井沢高校の生徒に紹介する交流学习を実施しました。

